

1. 土木分野

一般研修(建設業法・入札契約制度等)や専門研修(維持管理、災害復旧等)の実施

分野 土木

業務
形態

人材育成

対象となる職種 土木・建築・事務

●事業の目的と概要

<目的>

県土整備部が開催する公共調達スキルアッププログラムに基づく研修に市町村も広く参加することにより、県及び市町村職員の「技術力や専門的な知識向上」を図り、県や市町村という組織全体の「信頼性向上」に繋げていく。また、各業務における最新の動向や事例などの情報を互いに共有することで、経験不足の解消や互いの活性化に繋げていく。

<概要>

建設行政に携わる職員が必要とされる知識習得のため、必須研修・共通研修・育成研修・専門研修に分類し、体系化して開催する。また、PDCAサイクルにより研修毎に効果の検証や見直しを行って、社会的ニーズにあった研修を開催することで、継続して参加できる魅力ある研修を開催する。

●具体的な支援内容

県土整備部では、建設関連業務に携わる土木・建築・事務職員を対象に、あらゆる分野を体系化して研修を企画開催し、コンプライアンスと技術の両面から、職員の能力及び技術力の向上、資質の向上及び組織の信頼性向上を図っております。平成30年度においては、全39研修のほぼ半数となる19研修を市町村職員の対象とするなど、広く情報共有を図りつつ、県内全体の建設関連業務に携わる職員の能力及び技術力の研鑽に努めている。

〔市町村職員対象研修〕

- ①建設業法・入札契約制度研修【土木・建築・事務】
- ②建設マネジメント研修Ⅰ(基礎編)【土木・建築】
- ③建設マネジメント研修Ⅱ(応用編)【土木・建築】
- ④土木設計演習【土木】
- ⑤システム演習Ⅱ(CAD編)【土木】
- ⑥コンプライアンス研修【土木・建築・事務】
- ⑦測量・地質調査研修【土木・建築】
- ⑧エキスパート育成研修【土木】
- ⑨体験型土木構造物実習【土木】
- ⑩広報デザイン研修【土木】
- ⑪簡易GIS(地理院地図)操作研修【土木・建築】
- ⑫新任用地職員研修【事務】
- ⑬屋外広告物条例研修【事務】
- ⑭下水道事業担当者研修【土木】
- ⑮道路メンテナンス研修【土木】
- (2 山形県道路メンテナンス会議等による研修・現場見学会を参照)
- ⑯橋梁技術研修【土木】
- ⑰土砂災害ソフト対策研修【土木】
- ⑱災害復旧事業関係研修【土木】
- ⑲空き家対策実務者研修【建築】(14 市町村空き家対策実務者研修を参照)

●活用事例

<公共調達スキルアッププログラム>

平成30年度実績

市町村受講対象研修:19研修開催

市町村延べ参加人数:641人

◆平成30年度研修市町村職員からのアンケートより

- ・土木設計演習【土木】平成30年8月28日(火)開催
「基本的な事項を学ぶことができ、大変勉強になった。」
「開催いただきありがとうございます。是非このような研修があればお誘いください」
- ・建設マネジメント研修Ⅱ(応用編)【土木・建築】
平成30年9月27日(木)開催
「実務に結びつく研修内容であり、とても有意義な研修だった」
- ・体験型土木構造物実習【土木】
平成30年6月6日(水)開催
「実際の構造物による施工不良を見ることができ、とても勉強になった」



広報デザイン研修



体験型土木構造物実習



●活用の手続き

公共調達スキルアッププログラムの中で、市町村職員を対象とした研修の開催については、研修担当課より御案内いたします。

●担当課(問い合わせ先)

県土整備部 建設企画課 TEL023-630-2652

橋梁・舗装の長寿命化に向けたメンテナンス研修、橋梁等補修工事の現場見学会の実施

分野 土木

業務
形態

人材育成

対象となる職種 土木

●事業の目的と概要

<目的>

老朽化が進む道路インフラの適切な維持管理を推進するため、管理者として必要な知識、技術を共有する。特に市町村においては技術系職員が一人もいないところもあり、わかり易く継続した取り組みを行いながら、全体としてメンテナンス意識を高め、レベルアップしていくことが重要である。

<概要>

施設の維持管理をするうえで重要となるメンテナンスサイクル(点検・診断・措置)について理解し、それぞれの段階で注意すべきポイント等を実際の現場で確認しながら学習する。また、先進的な取り組み事例や最新技術の紹介などを行う。

●具体的な支援内容

①山形県道路メンテナンス研修(橋梁点検編)

- ・時期 平成30年9月10日(月)、12日(水)
- ・人数 約200人
- ・目的 橋梁点検・橋梁保全の技術力の向上を目的に、点検から損傷度の診断判定について研修

②山形県道路メンテナンス研修(橋梁以外)

- ・時期 平成30年11月7日(水)
- ・人数 約30人
- ・目的 舗装等の点検・保全の技術力の向上を目的に、点検から損傷度の診断判定について研修

③現場見学会(橋梁等補修工事)

- ・時期 平成30年9月19日(水)、10月3日(水)
- ・人数 約50人
- ・目的 補修設計や現場施工手順等について研修

④山形県道路橋合同診断会議

- ・時期 平成31年3月(予定)
- ・人数 約200人
- ・目的 診断精度の均一化と診断技術の向上

●活用事例

＜山形県道路メンテナンス会議の開催状況＞

平成30年度

第1回(平成30年9月4日(火)開催)

「前年度の点検結果について」

「平成29年度年度の点検結果」

「平成30年度点検計画」

「平成30年度活動計画」



現場見学会(橋梁等補修工事)の様子

●活用の手続き

事前に各市町村あて研修・見学会の開催案内を行います。参加を希望するものについて、案内に従って申込みしてください。

●担当課(問い合わせ先)

県土整備部 道路保全課 TEL023-630-2608

技術職員としての基礎知識を学ぶ研修等の実施

分野 土木

業務
形態

人材育成

対象となる職種 土木・建築

●事業の目的と概要

<目的>

建設事業の現場研修を通じて、技術的視野の拡大を図るとともに、建設技術者として必要な基礎的知識の習得を図る。[①・②]

講習会を主催する東北土木技術人材育成協議会の構成団体ではない市町村の職員も受講の対象とし、ICT活用工事へ対応できるよう、発注者側(県及び市町村)職員の技術力向上を図る。[③]

<概要>

県外を対象とした大規模な建設事業の現場研修や各総合支庁管内で公共事業全般の基礎知識を学ぶ研修の実施[①・②]

i-Constructionの推進に関わる技術講習会の実施[③]

●具体的な支援内容

①県・市町村技術職員現場研修

県および市町村の建設行政に携わ土木・建築等の職員を対象に、県外の最新技術を導入している工事現場や大規模な工事現場を見学し、建設事業の知見を深め技術力向上を図っている。

②建設技術基礎研修

県の後援の下、(公財)山形県建設技術センターが県および市町村の建設行政に携わる比較的経験の浅い土木・建築等の職員を対象に、最近の建設分野を取巻く現状に対応した講演や建設技術の基礎を研修している。

③基礎技術講習会

官民合同の講習会(座学・現場研修)によるICT・UAVに関する基礎技術の習得を図る。



①平成30年度 県・市町村現場研修

●活用事例

平成30年度実績

①県・市町村技術職員現場研修

日時:平成30年8月27日(月)～28日(火)

場所:宮城県内の研修所および工事現場

- ・大郷町コマツIoTセンター (ICT技術活用)
- ・女川町橋梁架設現場 (大規模橋梁整備事業)
- ・気仙沼地区 県橋梁架設現場 (大規模橋梁整備事業)
- ・気仙沼地区 県河川堤防・防潮堤 (復興事業)
- ・南三陸町市街地区画整理事業 (復興事業)

参加者:県(14)+市町村(7)=21人

②建設技術基礎研修

日時:平成30年11月26日(月)

場所:山形県置賜総合支庁講堂

内容:「道路を取りまく最近の話題」

講師:東北地方整備局山形河川国道事務所調査第二課職員

「重点道の駅 道の駅米沢」～オール米沢(置賜)を体感・創造・発信～

講師:米沢市産業部観光課職員

参加者:県(21)+市町村(17)=38人

③ICT・UAV基礎技術講習会

日時:平成30年10月24日(水)～25日(木)

場所: [座学]県庁講堂

[現場研修]東北中央道 村山地区道路改良工事

参加者: [座学]全受講者53名のうち、県16人、市町村7人

[現場研修]全受講者24名のうち、県5人、市町村3人



③ICT・UAV基礎技術講習

●活用の手続き

■①及び③の開催については、建設企画課より御案内いたします。

■②の開催については、公益財団法人山形県建設技術センターより御案内いたします。

●担当課(問い合わせ先)

県土整備部 建設企画課 TEL023-630-2653